

やまが 市議会だより

書 芹川英治 氏

第15号

平成29年 11月1日
発行／山鹿市議会

君の夢は僕の夢



もくじ

常任委員会行政視察報告	p2
常任委員会審査と報告	p3～5
市政のここが聞きたい(一般質問)	p6～10
審議した議案と結果一覧・主な議案	p11
議会の主な動き・広報研修他	p12



城北高校
(オープンキャンパスステージ発表「希望コール」)

先進地の取り組み ―行政視察より―

建設経済常任委員会 平成 29 年 8 月 1 日～ 3 日

【東京都府中市】

道路等包括管理事業について

工種ごとに別々に行っていた委託契約を 1 つにまとめて契約を行うことによりコスト削減の効果を得られている。民間のノウハウ、アイデア及び新技術の導入により市民サービスの向上に取り組まれており、山鹿市においても官民が連携した取り組みは必要であると感じた。

【山梨県庁】

峡東地域ワインリゾート構想について

ワイナリーへの誘客ターゲットを 30 代・40 代の女性、50 歳を超えられたミドル・シニア層、外国人観光客に設定し、ワイナリーの環境整備や地域案内ガイドの育成等、13 項目の事業に取り組まれている。平成 30 年秋に完成する菊鹿ワイナリー全体のブランディング、また農産物を生かした商品開発等において大変参考になった。

このほかに、東京都八王子市の八王子観光コンベンション協会、山梨県甲府市の甲府ワインポートにおいてワイナリーの視察を行った。



東京都府中市

総務文教常任委員会 平成 29 年 8 月 3 日～ 5 日



雨煙別学校（北海道栗山町）

北海道夕張郡栗山町；雨煙別小学校跡地、留萌市役所（生涯学習課）、増毛郡増毛町（増毛町観光協会）などを視察した。

- ①廃校跡利活用「自然体験型宿泊施設」・・・飲料会社の援助を受けて、廃校を子どもたちの合宿所として昔の教室を最大に活用していた。
- ②スポーツ合宿誘致「合宿ガイドブック」・・・市行政が中心となり、すべての商店街・旅館・病院・公共施設などと連携している。バレーボールクラブが毎年利用している。今後吹奏楽部なども受け入れる計画もあった。
- ③歴史的建造物群「コンパクトな街並み」・・・北海道で昔栄えた商店街をそのまま残し、ボランティアガイドによる丁寧な説明を受けた。

市民福祉常任委員会 平成 29 年 8 月 8 日～ 10 日

三重県伊賀市「福祉相談体制強化事業について」

福祉相談調整課の設置で、地域と専門機関を結ぶ役割を担い、高齢者支援のみならず障がいのある人・子どもすべての市民を重層的に支援・コーディネートするシステムがつくられていた。

三重県名張市「地域包括ケアシステムの深化・推進について」

住民主体のまちづくりと地域包括ケアシステムで、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供され、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる取り組み。小学校区単位の「まちの保健室」での総合相談・支援ネットワークづくり。エリアディレクター配置で多面的な支援など行政の縦割りの解消に役立っていると感じられた。

その他、伊賀市「空き家対策事業」、名張市「名張地区まちづくり推進協議会の取り組み」大阪府豊中市「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」について研修を行った。いずれも、山鹿市の支援の取り組みに大いに参考になるものとなった。



三重県名張市

修正案を可決

山鹿市サイクリングターミナル条例廃止案

◆付託案件

議案5件…承認・可決
議案1件…修正可決
認定1件…認定

陳情1件…不採択

◆現地調査

- ①少彦名神社（麻生野地区）
- ②サイクリングターミナル（鍋田地区）
- ③八千代座（山鹿地区）

◆主な審査内容

山鹿市サイクリングターミナル条例を廃止する条例

問 サイクリングターミナルの宿泊及び自転車貸出しや会議室の利用状況はどのようになっていくのか。

答 平成27年度の例を見ると、宿泊者数は1563人で、一人当たりの収入は2756円同経費は8439円である。費用対効果の面から宿泊事業の継続は困難である。なお会議室利用は、年間2100人から2800人。貸し自転車の利用は、年間2500台から3000台。サイクル列車の利用は、年間1600人から2100人と横ばいの状況である。

問

博物館を含んだサイクリングターミナル施設跡地の方針は、いつ決まるのか。

答

ターミナル及び博物館は「山鹿歴史公園」内に位置することから、一体的な整備を検討する。博物館等環境整備検討委員会のスケジュールでは、平成30年度に基本構想を策定し、跡地活用の方針は平成31年度に決定する。

問

全面廃止は、平成32年度からでもよくないか。

答

ターミナルの経費は、人件費と宿泊費が大半を占めている。費用対効果から平成30年度から全面廃止をしたい。ただし、宿泊機能の廃止を先行すれば、平成32年度全面廃止であっても財政面の負担軽減はできる。

修正案

- ①施設跡地の利活用方針が定まっていらない。
 - ②宿泊事業は、費用対効果から継続は困難である。
 - ③貸出し自転車・会議室利用は、一定の用途を果たしている。
 - ④廃止後の施設・用地の利活用方針は、平成31年度末に決定する。
- 以上の理由により
全面廃止時期を平成31年度末とし、宿泊事業のみを平成29年度末までに廃止し、貸出し自転車や会議室は平成31年度末まで継続するものである。

利用状況の比較表＜平成13・20・27年度＞

（単位：人）

	平成13年度	平成20年度	平成27年度
宿 泊	3,234	1,860	1,563
会議・研修室	331	2,595	2,065
自転車	3,326	2,897	3,236
列 車	2,751	2,541	2,109
合 計	9,642	9,893	8,973

現地調査

○少彦名神社（麻生野地区）

平成28年に発生した熊本地震による被災した、地域・集落におけるコミュニティの形成に寄与した施設等の再建を支援する事業の対象として調査。本殿全体が傾き、屋根の瓦がずれ、周辺の玉垣も倒れた。また楼門自体も傾き、その再建状況を確認した。

○サイクリングターミナル（鍋田地区）

昭和52年建設（全国で13番目）年間宿泊利用者が減少している。自転車貸出しと施設利用者は横ばいで推移。建物・管理状況を確認した。

○八千代座（山鹿地区）

塀の補修状況を確認した。



少彦名神社（麻生野地区）

生活保護世帯数の減少

◆付託案件

議案4件…可決

認定5件…認定

陳情1件…趣旨採択

◆主な審査内容

平成29年度補正予算

問 生活保護費の返納金が7200万円になっているが、生活保護世帯数の状況はどうか。

答 平成27年度より30世帯の減少。理由は、①就労したから②死亡③転出④高齢者施設入所⑤年金等による収入の増加⑥家族等による引き取り、その他によるものである。

問 戸籍住民基本台帳費（1157万8千円）の具体的内容は。

答 国の女性活躍加速のための重点方針を受けて、希望する方が、マイナンバーカード等へ（婚姻・離婚・養子縁組など姓変更に伴う）旧姓併記を行うために

システム改修をするもの。国の住民基本台帳法施行令改正は遅れているが、実務先行の予算となっている。

問 助産施設等措置費（216万円）の助産施設支援及び母子生活支援施設とは具体的に。

答 助産施設は、妊産婦で保険上必要であるが、経済的理由で入院助産ができない場合、県内4か所の助産施設が利用できる。

母子生活支援施設は、配偶者がいない女子等が、DV被害などで児童の福祉に欠ける場合に保護し、就労などの自立に向けた支援を行うもの。

問 「第三者行為損害賠償求償事務に係る届出推進強化事業」負担金（27万円）

答 第三者行為にはどういうものがあるのか。事業の内容また、どんな周知をしているのか。

交通事故、犬にかまれた、工事現場・施設内怪我、食中毒などがある。

答

事故にあった被保険者の医療費は加害者が負担すべきもので、事故後医療機関受診時に国保窓口へ届け出（損害保険が間に入る人が多い）が必要である。被保険者に届け出徹底がなされているとはいえないので、保険証送付時にお知らせ文章を添付、広報記載などで届け出の啓発、医療機関では診察時、保険者請求時などに周知徹底するための事業である。

問

介護基盤緊急整備特別対策事業（492万2千円）の内容は。

答 相模原市の障害者施設での事件を受けて、防犯カメラ・フェンス等、既存の高齢者施設などの防犯対策強化を支援するもので、国の単年度事業となっている。

問

路線バスへの補助額が前年度より大幅増額となっているが何か。

答 熊本地震の影響による交通渋滞により、運行ダイヤが乱れ、乗客離れて輸送人員が減少したため。

平成28年度決算認定

問

路線バスへの補助金は増え続けている。あいりタクシー等への補助金を増額するなど、交通体系を見直すことはしないのか。

答

将来的には、地域公共交通網形成計画の策定が必要ではないかと思っている。現在、課内で検討している。

問

障害児対象の放課後児童デイサービス事業費は毎年大幅に増加している。

日中一時預かり事業や放課後児童クラブとの違いは明確になされているのか。

答

平成27年度8千万円、平成28年度1億1800万円、平成29年度は1億5千万円を見込んでいる。対象児の増加が背景にある。県の所管であり療育が必要な児童に対して計画を立てて、適切な療育が行われるような取り組みを推進していく。



バスターミナル

県内最大級のメガソーラー建設！

◆付託案件 議案3件…可決
認定9件…可決

請願1件…継続審査
陳情1件…採択

◆現地調査

①メガソーラー建設予定地

②公共土木施設災害箇所

③花見坂く大宮神社信号間（請願関連）

◆主な審査内容

平成28年度決算について

鳥獣被害の対策は。

罨は資格所有者のみが仕掛けられるため、猟友会と協力して対応。各市民センターでも罨の貸し出しをしている。

農村地域のため池ハザードマップ配布は。

該当箇所の全戸に配布済み。住民の防災・減災意識の向上が図られた。

林道等の原材料現物支給について。

各地域からの要望が多いため、特定の箇所に多く渡すことは難しい。

問 にぎわい創出推進事業について

答 特に外国人観光客への対応を進めるため、メニュー等の多言語表記や無料公衆無線LANを推進。昨年度の実績は4件（旅館3件、飲食1件）。利用者を増やしたい。

問 工事請負費の予算はどのようにしているのか。

答 予算は電算システムに諸条件を入力し算出している。

問 国有財産（栗林宿舎）の現状と今後の活用は。

答 熊本地震による一時入居者は全員退去され、建物は封鎖中。所有者の九州財務局から活用の打診があれば検討する。

問 市道の未舗装箇所はあるのか。

答 圃場整備内の市道で、砂利道が残っている部分があり、全舗装はできていない。

問 鹿央物産館の今後の活用について。

答 地形的に高低差があり、高齢者などには不便である。藤や蓮を活かしたイベント、販売品のてこ入れ、宣伝を強化したい。

花見坂（栄太郎）く大宮神社信号間の電線地中化工事を求める請願書

総延長420メートルに電柱20本、そのうち道路に13本。車両の離合に必要な幅員はあるものの、利便性を損なっている。車や歩行者の往来、灯籠まつりの時に邪魔にならないことが求められる。地中化には事業費として約8億6千万円が見込まれて、九電やNTT、道路近隣者の協力も必要不可欠。課題も多いため継続審査となった。

森林環境税（仮称）の早期実現についての陳情書

森林環境税（仮称）は、市による所有者不明の森林の間伐代行、公的管理の強化、民間技術者による対応支援などを行うための財源として検討されている。国としては創設に向けて地方の意見を踏まえながら、平成30年度の税制改正において結論を出す予定。

水源の確保など森林の保全は将来にわたって非常に重要な課題であり、他自治体でも53件決議されているなど、全国的な流れになっている。山鹿市においても

同様であると考えられるため、原案の通り採択することに決した。

現地調査

①メガソーラー建設予定地（平小城地区）

和山水鹿ソーラーパークを現地調査。立地協定を締結したエリアの発電出力は、今後建設予定の分を含めると計51.6メガワットであり県内最大級となる。調整池や斜面の整備などを確認した。

②公共土木施設災害箇所（山鹿地区）

市道中古閑の上線、健康福祉センターの近隣。7月の豪雨で法面が崩落、応急措置の施工を確認した。



メガソーラー建設予定地（平小城地区）

市政のここが聞きたい！



こちらの
QRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市
ホームページ

→ 市議会
一覧

→ 定例会の
様子

の順にクリックしてください。



服部 香代 議員

サイクリングターミナルについて

- 質問** ①廃止するに至った経緯について。
②市民の意見聴取は行ったか。
③今後の活用について。

答弁 教育部長

- ①利用状況や維持経費、存続する場合の改修経費に対する費用対効果などについて検討し6月に教育委員会の承認を得て7月に市の方針として決定した。
②平成28年9月に山鹿市立博物館等環境整備検討委員会において現状説明し、意見を聞いている。
③博物館等環境整備検討委員会で検討していく。

市民交流センターについて

- 質問** ①ホール使用料金区分の変更について。また会議室を楽屋として使用する場合は新たな料金設定について。
②防犯対策として防犯カメラの設置について。
③運営について市民の声を聞く機会を設けているか。

答弁 教育部長

- ①八千代座及び八千代座交流施設と合わせて運用しているため改定の予定はない。

- ②プライバシーの問題もあり全庁で方針を定めるための協議を行っていく。
③ホームページや窓口でご意見を伺っていく

地域包括ケアシステムの構築について

- 質問** ①山鹿市の取り組みの現状について。
②部署を超えた横断的な枠組みを設置する意思があるか。
③市民への意識啓発と今後の方向性は。

答弁 福祉部次長

- ①包括的支援や介護予防支援など様々な事業に取り組んでいる。地域包括支援センターを高齢者の相談窓口として設置し、関係部署と連携し対応している。
②庁内組織の役割分担の整理と位置付けの明確化、関係機関との連携・調整が重要である。システムづくりには課題も多いが本市にとって最も適した地域包括ケアシステムを構築していきたい。
③行政の支援はもちろん、様々な制度、分野を超えて地域住民が主体となり参画できるよう取り組んでいく。



サイクリングターミナル



富田 弘海 議員

人口減少対策について

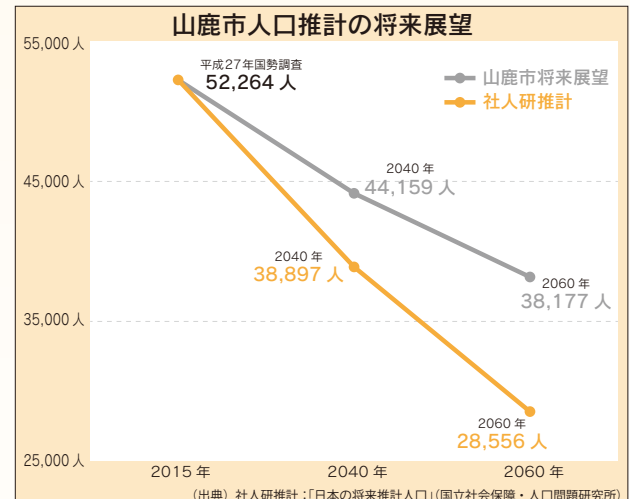
- 質問** ①山鹿市に空き家はどれくらいあるのか。また、空き家バンクに登録されている物件はどれくらいあるのか。移住される方への支援はどのようなものがあるのか。
②人口減少対策として山鹿市独自の思い切った取り組みはないのか。

答弁 ①市民部長 ②市長

- ①調査員の目視によると、市全体で1,012件の空き家と推測される物件があり、利用可能と思われる物件は541件である。空き家バンク登録物件は、のべ33件あり、登録物件を利用し移住された方や、契約された所有者を対象に、改修工事、片付け、引っ越し費用の一部を支援する制度がある。
②人口減少問題の解消については、究極的には出生率を増加させ、生産年齢人口を増加させるといった人

口構造そのものを変えることにあるが、この問題は、一つの取り組みを実施すれば解決できるものではなく、その対策は経済政策、福祉政策、教育政策、移住定住政策など、各部局間の政策を相互横断的かつ断続的に取り組む必要があると考える。

本市の基幹産業である農林業と観光業の地域資源を活用した経済政策を重点的に推し進め、自然減少・社会減少の抑制のための子育て支援の推進などを有機的に連携させ、交流人口の拡大や移住定住の促進につなげたいと考えている。



北原 昭三 議員

災害支援対策について

- 質問** ①被災者への迅速な行政サービスの提供に欠かせない被災者支援システムの導入時期についての見解を伺う。
②備蓄品の管理、保管はどのようなになっているか。

答弁 総務部長

- ①各々のシステムの内容、本市が所有している各種データとの連携などを十分に調査するとともに、その実用性・費用対効果などの検証も行い、なるべく早い時期での導入を目指したいと考える。
②概ね500人の3日分を備蓄しており、保管については、管理表を作成し、適正な管理、保管に努めている。



備蓄品

規模適正化事業計画の進捗状況について

- 質問** 八幡小・三岳小・平小城小の再編には現段階では地域の理解が得られていない状況と思う。諸問題を解決するため今後どのような取り組みを考えるか伺う。

答弁 教育部長

地域住民の方々の理解を十分得る必要があることから、より良い再編を進めるために、課題に対するより具体的な提案や協議の進捗に関する丁寧な情報提供を行いながら、引き続き地域の懸念事項を払拭し、理解を得ながら着実な計画の推進に努めてまいりたいと考えている。

山鹿灯籠まつりの開催日程等について

- 質問** 市民の皆様の声並びに議論の進捗について、また、今年の入込客数について問う。

答弁 経済部長

各町内会等の意見を聴取し、灯籠まつり実行委員会や、次代のまつりを担う中心的メンバーによる懇談会の場などにおいて、来年の灯籠まつりの完成型に向けて一定の方向性を定めていく。入込客数は2日間で計16万人だった。

上記質問の他に、①教職員の働き方改革等について②胃がん予防のためのピロリ菌検査の導入と費用助成についても質問を行った。



芋生 よしや 議員

国民健康保険税・来年度の都道府県化について

質問 来年の国保税の試算結果はどうか。国保の値上げをしないために、一般会計からの法定外繰り入れを継続すべきではないかを問う。

答弁 市長

県は3回目の試算結果を9月末頃公表予定。国が実際の算定基礎を示す来年1月の最終的な標準税率公表を受けて、市の税率を決定する。

市民に重負担は求めず、国民健康保険税の基金からまずは繰り入れる。

災害に強いまちづくりについて

質問 戸建木造住宅耐震化支援事業の今後の計画を問う。

答弁 建設部長

住宅耐震化支援事業は平成38年3月末、被災者宅

地復旧支援事業は平成32年3月末まで実施し、随時相談受付を行う。

安心・安全なまちづくりについて

質問 誰もが利用しやすい多目的トイレなどの整備計画はあるのか。市民がいつでも憩い、遊べる公園整備が十分できているか。健康遊具やスケボーパークなど要望に応じる計画はあるのかを問う。

答弁 建設部長

老朽化による建替え時などに、利用者が安心して安全に利用できるよう多目的トイレ等の整備に努める。

住民の意見を聞きながら親しみやすい公園整備を検討するとともに、「健康づくり」のために子どもから高齢者まで、気軽に運動ができる健康遊具の整備も考慮し、改修・更新等を進める。



多目的トイレ（湯の端公園）



勢田 昭一 議員

自主防災組織について

質問 自主防災組織の組織率を問う。

答弁 総務部長

平成29年4月1日現在、市内258の行政区のうち、201の行政区で組織化され、76.6%である。全国平均81.7%や熊本県平均81.3%より低い。さらに未結成の行政区への働きかけを加速する。

22組織（集落営農組合）について

質問 集落営農組合・法人の数と、今後の推進取り組みを問う。

答弁 経済部長

集落営農組合22組織、農事組合法人10法人が設立している。推進するには、集落にあった形態で対応することが必要である。

まず、集落の農業現状と組織化への理解促進をはかり、集落の合意形成、その後の経営方針の検討と作成を行い、組織設立をする。

菊池川流域の日本遺産について

質問 大人・子どもへの啓発と体験事業を問う。

答弁 教育部長

大人の啓発分野では、9月から4市町の広報紙に同じ紙面を「日本遺産リレー連載」を掲載している。ホームページの活用・出前講座など体験事業分野では、赤米栽培やカヌー体験など協議会加盟団体と編み出したい。

子どもの啓発分野では、教本の作成・出前授業を展開し促進する。

体験事業分野では、「イデベンチャー」や「菊池川の生き物観察会」など協議会加盟団体と新たな体験メニューを事業化したい。



鞠智城と古代米

上記質問の他に①自主防災組織の活動と課題②農林業の管理整備③菊池川流域日本遺産の行政・民間団体との連携について質問を行った。



立山 大二郎 議員

新生児聴覚スクリーニングについて

質問 公費負担と現状を問う。

答弁 福祉部次長

- ①現在、出産育児一時金が42万円支給され、実質個人負担はないので、本市としては公費負担を行っていない。
- ②保健師による全戸乳児訪問や健診等で要支援となった乳幼児の訪問を実施し、状況に応じた助言・指導を行っている。また、乳幼児検診の際にオーディオメーターによる聴力検査を実施している。

災害時の連絡について

質問 地域連携及び広域後方支援等を問う。

答弁 総務部長

- ①県内の市町村で、自然災害や武力攻撃等により被害を受けた自治体の要請に応え、他の自治体が友愛精神に基づき行う応援に関する協定を締結している。

- ②昨年の熊本地震では、食料や飲料水の提供、消防職員や医療チームの派遣、入院患者等の受け入れ、給水支援等の他、職員の派遣による業務支援を行った。

教育現場の環境について

質問 ICT環境及び校務支援システムを問う。

答弁 教育部長

- ①全小中学校で1人1台使用できるパソコン教室を整備。小中計100台の電子黒板、小中計200台のデジタル教科書用パソコンを配備。子どもの将来のためICT（情報通信技術）環境の整備計画を進める。
- ②教員1人に1台のパソコンと、外部とのメールの送受信及びデータの入出力用の共有パソコンを設置し、授業準備や資料作成等に活用。今後も教員が児童生徒に向き合う時間の確保に繋げる。



山鹿中学校（パソコン教室）

上記質問の他に、①重度心身障がい者等の医療費助成についても質問を行った。



有働 辰喜 議員

小学校スクールバス運行について

質問 めのだけ小学校では、鹿央町の保護者がプール監視で、スクールバスでの児童送迎の添乗を含め、6時間以上拘束されたが他の小学校の現状はどうなっているか。

答弁 教育部長

プール対応バスの運行をしている菊鹿小、山鹿小とも児童のみで乗降。保護者は、プール監視だけである。

小学校スクールバス入札について

- 質問**
- ①めのだけ小学校スクールバス（貸切りバス）入札での設計時間が、国の指針より長く、過大積算ではないのか。
 - ②全指名業者に仕様書変更3回分と質疑回答書は配布したか。
 - ③正式な決定を待たず落札決定の旨の連絡を行った事実があるか。
 - ④入札直後の変更理由とその内容を問う。
 - ⑤菊鹿小学校の入札経緯を問う。

スクールバス（めのだけ小学校）

答弁 教育部長

- ①実態調査でも、市が独自に設定した時間（7時間）とはほぼ同じであり、問題はないと考える。
- ②配布は全参加業者に行った。
- ③そのような事実はない。
- ④試走で、学童保育対応による混雑が判明。大型バスを導入することで混雑が解消するので中型バス1台を大型に変更を行った。また入札後の変更のため、契約期間は3年でなく1年とした。
- ⑤応札1社のため不調となり、時間的猶予がなかったため法令により応札1社と随意契約を行った。

学校跡地活用について

質問 千田小学校に県の特別支援学校が進出する予定があるのか。

答弁 教育部長

県が山鹿市に開設を検討されており、閉校や閉校予定の学校施設を候補地として情報提供している。





小川 榮二 議員

森林整備事業の現状について

質問 森林は木材価格の低迷や林業農家の高齢化・後継者不足により十分な手入れがなされず荒廃化が進んでいるが現状について問う。

答弁 経済部長

森林整備を推進するため、鹿本森林組合が主体となり、コスト削減と安定販売を目的とし、施業の集約化を図るため、森林経営計画を策定されている。

平成 28 年度の取り組み（間伐 176.5ha、下草刈り 38.2ha、植栽 3.37ha、作業道開設 17,724m）

山林資源の利活用について

質問 「あや杉」の普及推進や B P 材工法による地元産材の需要拡大、山林の観光資源としての活用について問う。

答弁 経済部長

山鹿市産材の約 8 割を占めるあや杉は光沢があり強度にも優れ、また B P 材工法は地震等にも強く、大規模な建築にも適していることから「あや杉家づくりネットワーク」や関係機関と連携を図り普及推進・需要拡大に努めていきたい。

山林資源の活用については、林業経営者である「ゆうきの森」が主催する森林体験ツアーやあや杉木工体験等は大変好評を得ており、またブリチストン熊本工場が市有林を活用した社会貢献活動による山鹿市民との交流を深められるなど、市としても積極的に支援していきたい。

特用林産物の振興について

質問 タケノコや椎茸栽培者の労働力の軽減を図り、高付加価値を高めるための機械の導入や施設の改善について問う。



シイタケ原木栽培

答弁 経済部長

県内生産量の約 4 割を占めるタケノコや椎茸栽培者の労働力の軽減を図るため、国県等の事業を活用し、乾燥機や運搬機の導入・園地等の作業道整備、また施設等の充実を図り、更なる生産性向上に努めていく。



永田 紘二 議員

防犯対策について

質問 ①防犯カメラの設置についての 6 月議会以降の取り組み状況は。
②防犯カメラの設置に関する市長の考えは。
③防犯灯設置補助金交付要綱について。

答弁 ①③総務部長②市長

- ①現時点では、具体的な取り組みは行っていないが、今後、山鹿警察署との会議の場で行政と警察双方の立場から議論を深め、適正な措置を講ずるための条例等の制定について調査・研究を進めていく。
- ②防犯カメラの設置に関し、市民や来訪者の理解と協力を得るには、プライバシー保護等の問題点を整理し、設置場所や録画データの管理等の基準を確立した上で、取り組むべきである。
- ③合併後 10 年目をもって一旦区切りをつけたが、補助金交付要綱を存続し、設置の必要性が認められる案件については、補助申請を受け付けている。

地域包括支援について

質問 ①平成 30 年度の介護保険制度の改正内容と対応は。
②地域包括支援センターの民間委託の問題点

や課題は。

- ③認知症対策（オレンジリング）の活用は。
- ④2025 年問題に向けた取り組みは。
- ⑤総合相談支援への取り組みは。

答弁 ①②③④は福祉部長、⑤は市長

- ①「保険者機能の強化等と取り組み支援」、「医療・介護の連携推進」、「地域共生社会の実現に向けた取り組み推進」、「制度の持続可能性の確保」などである。スムーズな対応、地域包括ケアシステムの確立・強化のため準備を進めていく。
- ②市の方針・施策の共有や、中立公正の確保、質の担保や相談支援への対応基準の統一、運営の受け皿などの課題が想定される。
- ③サポーターの証しとしてオレンジリングを身につけていただけるようお願いしていく。
- ④既存事業の継続と検証のもと、総合的な福祉サービスの提供実現に向け、その仕組みづくりに取り組んでいく。
- ⑤複合的な課題への的確な対応、横断的な支援ができるよう、行政内部の連携体制の強化に努めていく。また、「互助・共助」が重要となる中、事業所間連携や業種間連携、地域連携など、各機関・団体や地域を巻き込んだ官民一体となった体制づくりのため、行政がその指導的な役割を果たしながら、地域包括ケアシステムの構築に努めていく。



認知症サポーターリング

平成29年9月定例会における審議結果表

議案等番号	案 件	結 果
議 案 第 4 6 号	熊本市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	可 決
議 案 第 4 7 号	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第2号)）	承 認
議 案 第 4 8 号	山鹿市工場等設置奨励条例等の一部を改正する条例	可 決
議 案 第 4 9 号	山鹿市サイクリングターミナル条例を廃止する条例	修正可決
議 案 第 5 0 号	山鹿市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可 決
議 案 第 5 1 号	平成29年度山鹿市一般会計補正予算(第3号)	可 決
議 案 第 5 2 号	平成29年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可 決
議 案 第 5 3 号	平成29年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可 決
議 案 第 5 4 号	平成29年度山鹿市病院事業会計補正予算(第2号)	可 決
議 案 第 5 5 号	工事請負契約の締結について	可 決
議 案 第 5 6 号	財産の取得について	可 決
認 定 第 1 号	平成28年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 2 号	平成28年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 3 号	平成28年度山鹿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 4 号	平成28年度山鹿市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 5 号	平成28年度山鹿市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 6 号	平成28年度山鹿市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 7 号	平成28年度六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 8 号	平成28年度城北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 9 号	平成28年度稲田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 1 0 号	平成28年度稲田六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
認 定 第 1 1 号	平成28年度山鹿市水道事業会計決算の認定について	認 定
認 定 第 1 2 号	平成28年度山鹿市病院事業会計決算の認定について	認 定
認 定 第 1 3 号	平成28年度山鹿市下水道事業会計決算の認定について	認 定
請 願 第 2 号	花見坂（栄太郎横）～大宮神社信号間の電線地中化工事を求める請願書	継続審査
陳 情 第 2 号	精神障害者の交通運賃割引を求める意見書採択のお願い	趣旨採択
陳 情 第 3 号	森林環境税(仮称)の早期実現についての陳情書	採 択
陳 情 第 4 号	市議会議員選挙費用の一部を公的に助成する陳情書	不採択
意見書案第2号	全国森林環境税の創設に関する意見書	可 決

賛 否 表

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
議 案	立山大二朗	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児
議案第51号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第2号	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

上記以外の案件は全会一致で審議結果表のとおりとなりました。（議長は採決には加わりません）

賛成討論
議案第49号
直ちに廃止とせず、宿泊施設を除き、平成31年3月末まで存続となった。その間に、老朽化した施設の整備と共に住民の意見をよく聞き、今後の利活用を議論すべきとの意見を添え賛成。

反対討論
意見書案第2号
資源循環型の林業や木材産業の再生を図る取り組みは重要。だが「財源を国民に負担させる」のではなく、環境破壊・汚染を引き起こしている大企業に対してCO2排出量に着目した環境税を払わせることが必要と考え反対。

芋生よしや議員
議案第51号
マイナンバーの利用拡大に反対。
認定第2号
市民生活を圧迫する高い国保税に反対。
認定第3号
年齢で医療を差別する制度に反対。
認定第5号
利用料の2割負担導入、特養ホーム入所制限など問題点を含む決算に反対。

〔修正動議〕 提出者 寺崎議員
議案第49号 山鹿市サイクリングターミナル条例を廃止する条例案に対する修正案
サイクリングターミナルの全面廃止時期を平成31年度末まで延期し、この間、維持管理経費の負担軽減を図るため、宿泊機能のみを平成29年度末までに廃止し、自転車や会議室の利用については、平成31年度末の全面廃止まで継続できるよう、修正案を提出した。
※ 審査内容については総務文教委員会（P3）をご覧ください。

議会の主な動き

7月	3日(月)	矢谷溪谷キャンプ場オープンセレモニー 広報委員会
	6日(木)	山鹿市文化財保護協会総会
	11日(火)	広報委員会
	18日(火)	百歳到達者表敬訪問
	19日(水)	建設経済常任委員会
	20日(木)	山鹿市議会防衛議員連盟総会
	28日(金)	全員協議会
8月	1日(火)	建設経済常任委員会行政視察(～3日)
	3日(木)	総務文教常任委員会行政視察(～5日)
	5日(土)	菊鹿戦没者追悼式
	8日(火)	市民福祉常任委員会行政視察(～10日)
	9日(水)	「平和を祈念する日」式典
	10日(木)	熊本県北市議会連絡協議会
	13日(日)	かもと招魂祭(～14日)
	15日(火)	山鹿灯籠まつり(～16日)
	17日(木)	姉妹都市クーマ交流事業歓迎会
	24日(木)	議会運営委員会・広報委員会
	25日(金)	百歳到達者表敬訪問
	31日(木)	9月定例会開会・全員協議会
9月	2日(土)	山鹿市災害に強い地域づくりフォーラム
	6日(水)	9月定例会質疑・一般質問、広報委員会
	7日(木)	9月定例会質疑・一般質問
	8日(金)	建設経済常任委員会
	9日(土)	山鹿市敬老表彰式典
	11日(月)	市民福祉常任委員会
	12日(火)	総務文教常任委員会
	13日(水)	議会運営委員会 山鹿市中体連陸上競技大会
	15日(金)	9月定例会閉会・全員協議会
	21日(木)	百歳到達者表敬訪問
	25日(月)	広報委員会
	27日(水)	鹿央戦没者追悼式 議会報告会

「議会だより」第14号(平成29年8月1日発行)12ページの人権擁護委員の記事に誤りがありました。

誤) 山鹿市鹿本町 安谷 美智子氏
正) 山鹿市鹿本町 安谷 美智子氏(新任)
訂正してお詫び申し上げます。

編集後記

彼岸花が地を赤く染め、青空が高さを増すうれし
い収穫の季節となりました。一方台風18号による各
地の被害の大きさは、胸が痛みました。心よりお
見舞い申し上げます。
さて、今回の広報は読者のみなさんのニーズに応
えているでしょうか。

広報研修からの帰路、機内誌に目が留まりました。
「写真と文字の配分・読みやすさに気配りのある紙面
に、学んできた実践がここにある」と参考のために
思わず持ち帰ってまいりました。

議会広報紙とは何か、手にとり、読みたくなる紙
面のビジュアル化、情報を住民目線で選択・整理し
て発信することなど学びを生かして、さらに工夫を
重ね議会と読者をつなげていきたいと思えます。

広報委員 芋生よしや



行政視察

ようこそ山鹿市へ

7月4日	大野城市・朝倉市・太宰府市・ 那珂川町・筑紫野市・春日市	認知症支援体制の構築事業について
7月12日	兵庫県赤穂市	ジャパンブランド構想について
7月25日	群馬県	新養蚕業構想について
7月31日	岐阜県御嵩町	認知症支援体制の構築事業について
8月3日	福島県喜多方市	菊鹿ワイナリー構想推進事業の取 組みについて
8月3日	群馬県館林市	認知症支援体制の構築事業について
8月28日	兵庫県豊岡市	認知症等支援事業について
8月29日	宮崎県日南市	新庁舎建設について
9月27日	栃木県矢板市	空き家バンクの運用と実務について

私たちは「時候のあいさつ」に制限があります

選挙区内の方に、年賀状や暑中・残暑見舞状などの時候のあいさつ(※1)(電報も含む)を出すのは、禁止されています。

ただし、「答礼(※2)のための自筆(※3)によるもの」は認められています。

また、選挙区内の方にあいさつする目的で、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどで有料広告(いわゆる名刺広告など)を出すことも禁止されています。このような広告を出すように求めることも禁止されています。

※1 あいさつ状の範囲は？・・・

上記以外に寒中見舞い、クリスマスカード、喪中はがき等、電報や電子郵便(メール)を利用しての年賀のあいさつも含まれます。

※2 答礼とは？＝相手のあいさつに答えてあいさつすること

※3 「自筆」と認められないものは、コピーなどの複写・パソコン作成・他人の代筆・印刷屋作成・署名のみの自筆など。

議会広報研修会報告

7月26・27日議員・職員のための議会広報セミナー in 東京に広報委員会で参加。

「目に見えて進む広報改革」「もっと読まれる広報紙へ」の講座で、各地の広報紙が紹介され、紙面の工夫で読みやすくするとともに議会と住民がつながることを重視し、議会活性化に取り組まれている沢山の実践を学んできた。

紙面は、見た目にすっきり分かり易く。内容を盛りだくさんに詰め込まない。読み手の立場に立つ。インターネット利用者の増加を踏まえ、QRコード掲載などでホームページに移行させて理解を深めてもらう工夫が必要。住民参加(写真や取材記事など)で興味が広がり議会と住民がつながるものになっているか。読者の知りたいニーズに添えているか。など、広報紙そのものを見直す機会となった。

持ち込んだやまが市議会だよりには、意見も添えていただき、それらを取り入れながら改善を進めていきたいと思う有意義な研修となった。